

ガス前用ハーフガラス (SPGA075)

施工説明書

必ずお守りください。

表示について

この施工説明書では、製品を安全に正しく施工し、お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、下の表示を行っています。いずれも使用者の安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

警告

この表示を実行しないで施工をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。

同梱部材

この製品には下記部材が入っております。

No	同梱部品名	数量	姿図
1	ガラス本体	1	
2	キャップ	2	
3	内枠	2	
4	支柱L/R (ガラスパッキン付)	各1	
5	支柱取付ビス (六角穴付き皿ボルトM5×8)	2	
6	ベース取付ビス (パネ座金組込みネジM6×35)	2	
7	ベースL/R	各1	
8	受け枠 (ベース用パッキン付)	2	
9	六角レンチ ※お客様にお渡しください。	1	
10	ガラス用スペーサー	2	
11	目隠しシール	2	
12	施工説明書 ※本紙	1	
13	取扱説明書 ※お客様にお渡しください。	1	

- 取付け方法は下記の手順でおこなってください。
- 1 受け枠・ベースの取付け
 - 2 支柱の取付け
 - 3 ガラス本体の取付け
 - 4 キャップの取付け
 - 5 確認

注意

この表示を実行しないで施工をすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。

ベース取付ビスを締め付ける場合は専用工具として長尺のドライバーをご準備ください。

2 支柱の取付け

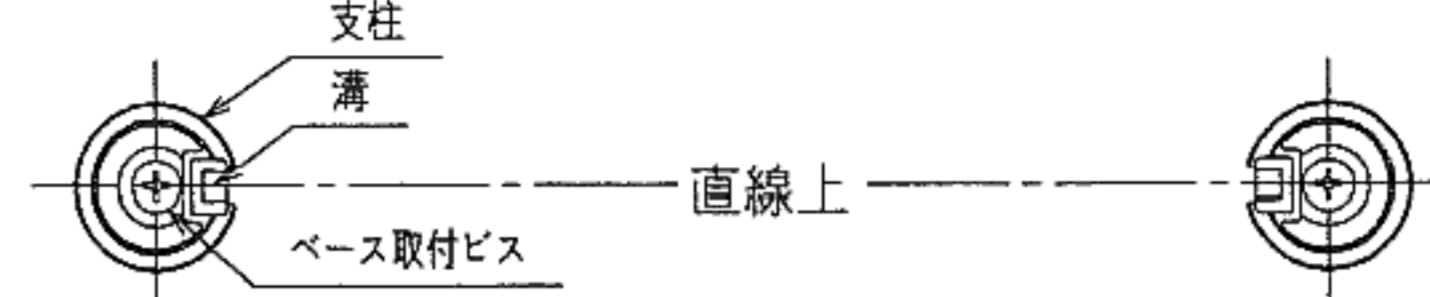
① 支柱はベースに差し込み、支柱取付ビス (六角穴付き皿ボルトM5×8) を同梱の六角レンチにて締め付け固定してください。

支柱をベースに取付け後は、支柱にむやみに力を加えないようにしてください。固定が弱くなり、ガタつきが発生するおそれがあります。

※取付ビスを締めすぎて空回りさせないようご注意ください。空回りしますと固定が弱くなり外れるおそれがあります。

●支柱の溝の位置合わせ

② 左右の支柱のコの字溝が、ほぼ内側方向で直線上になるように支柱を回転させ下図のように位置を合わせてください。



③ 左右の支柱のコの字溝にあわせて、ガラス本体を上から垂直に差し込みコの字溝の向きを決めてください。この状態で、図アのように支柱の向きがズレないように支柱下部とトップをテープ等で固定してください。

※溝の位置がズレていると、ガラス本体が入らないまたは、破損するおそれがあります。

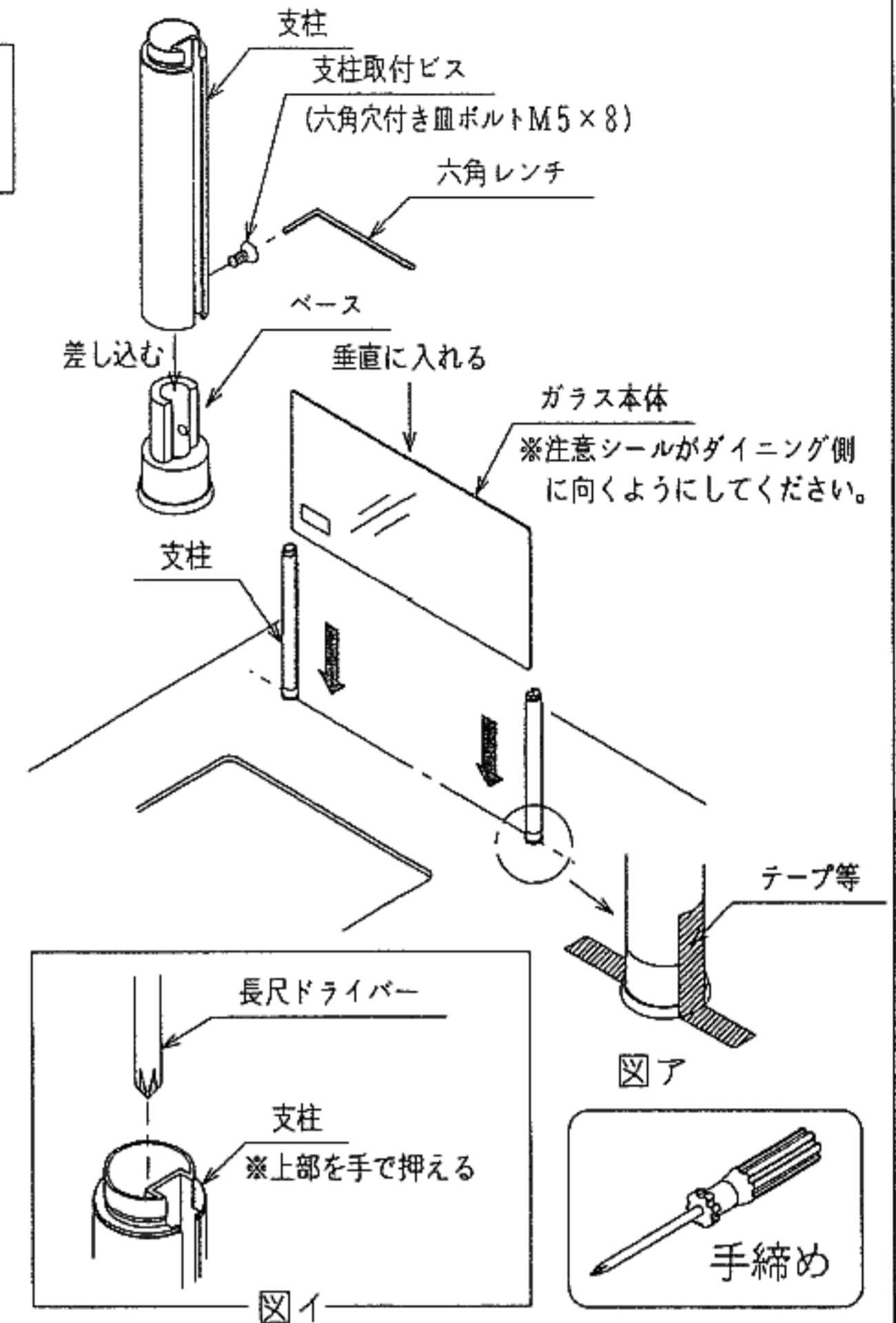
④ ガラス本体を支柱のコの字溝から取りはずしてください。

⑤ 図イのように支柱の上部から長尺ドライバーを差し込み、支柱の上部を手で押えた状態でベース取付ビスをしっかりと締め付けて、ベースが動かないように増締めしてください。

ベース取付ビスは必ず手締めで締めてください。インパクトドライバーや電動ドライバーを使用すると、締めすぎて空回りする恐れがあります。

※取付ビスを締めすぎて空回りさせないようご注意ください。空回りしますと固定が弱くなり外れるおそれがあります。

⑥ 最後に、支柱の下部とトップに貼付けたテープを必ずはがしてください。



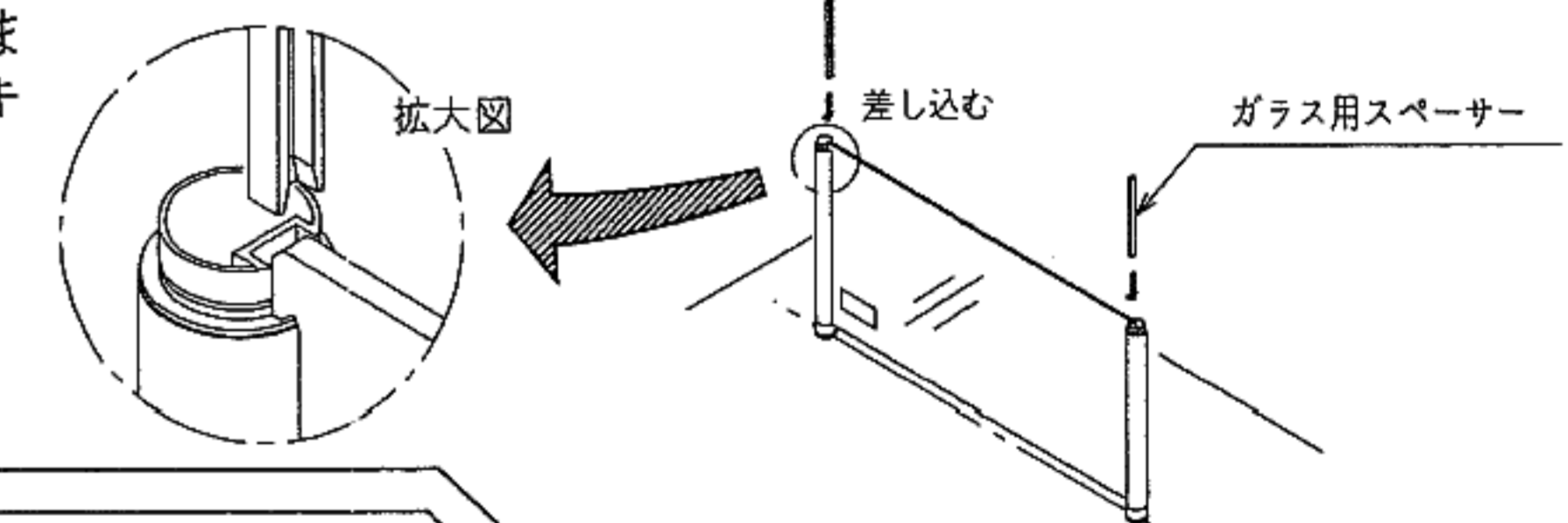
3 ガラス本体の取付け

① トップに固定されている支柱の溝にあわせて、ガラス本体を垂直に差し込んでください。

※ガラス本体を斜めに傾けたまま差し込むと入りにくく、無理に差し込むと破損するおそれがあります。※ガラス本体は、注意シールが貼られている面をダイニング側に向けて取付けてください。

② ガラス本体を取付け後、支柱の溝とガラス本体の隙間にガラス用スペーサーを差し込んでください。

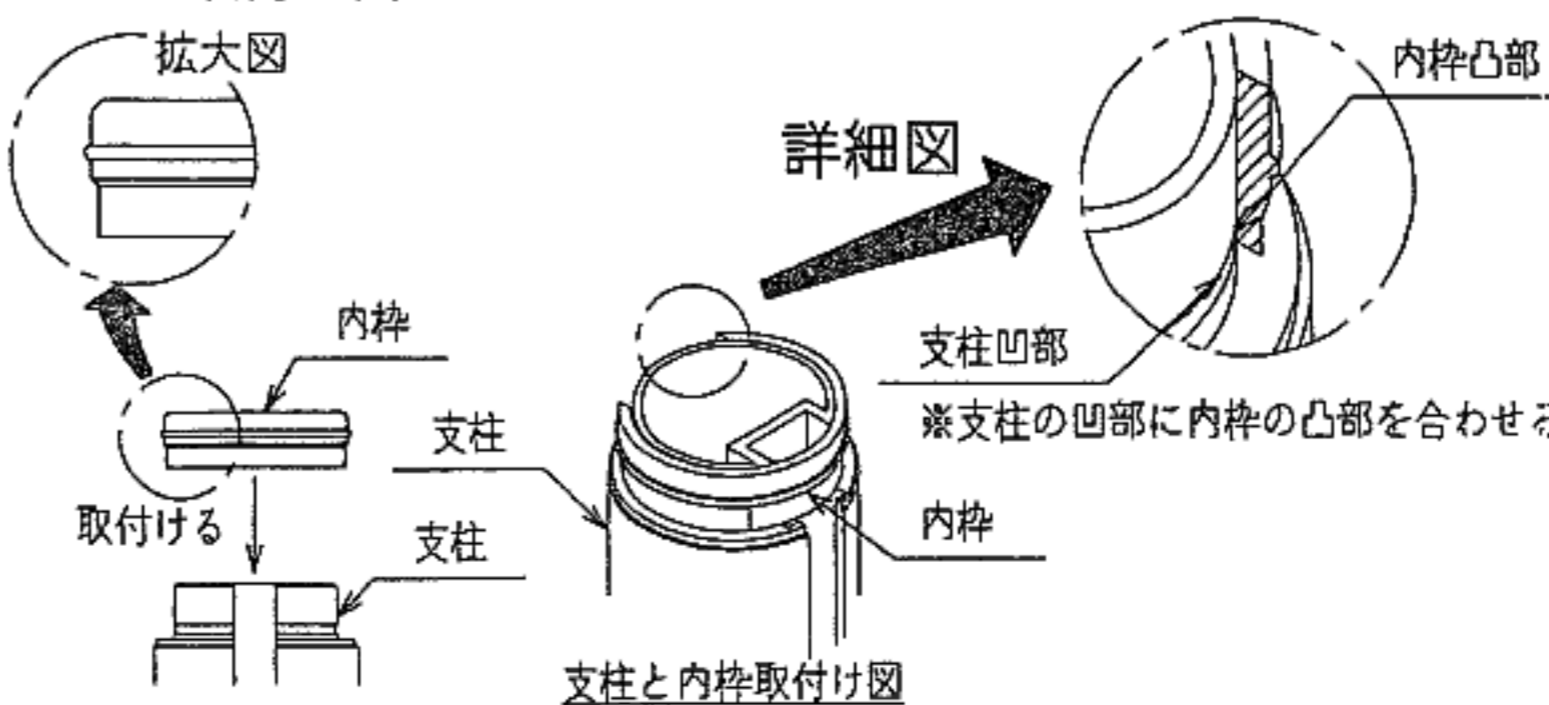
※ガラス用スペーサーを取付け忘れますと、支柱とガラス本体にガタつきが生じます。



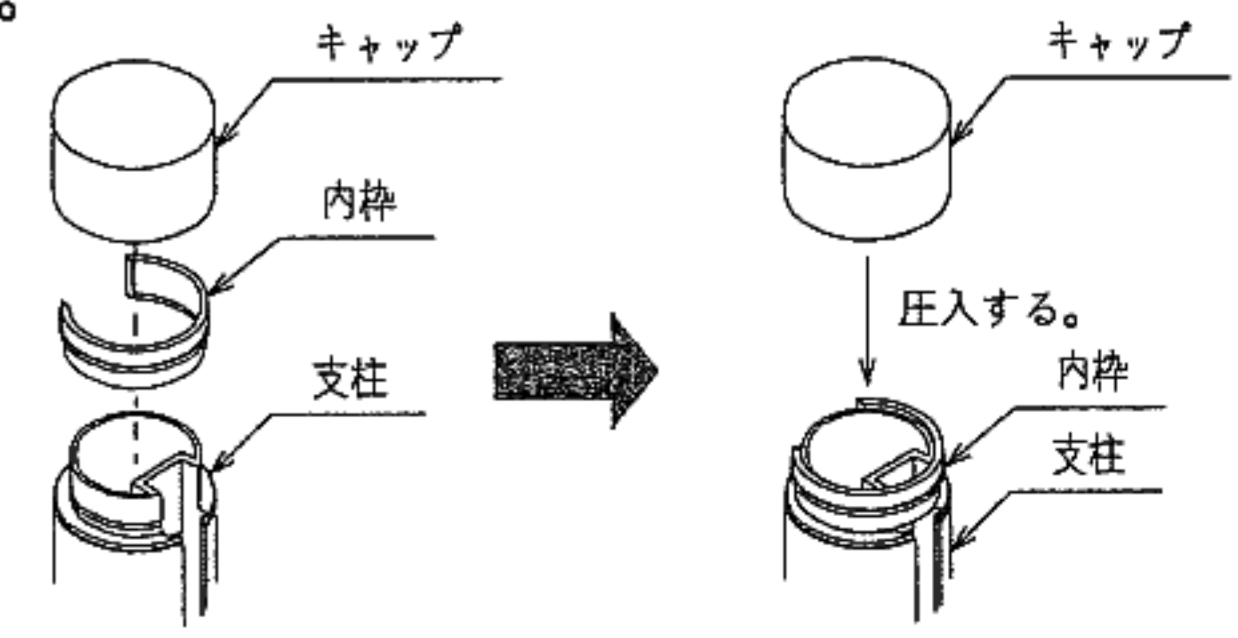
4 キャップの取付け

① 支柱の上部に、内枠を下図のように取付けてください。

※内枠を支柱に取付ける際は、取付ける方向にご注意ください。取付け間違いますとキャップが取付かないおそれがあります。



② 内枠を取付けた支柱に、キャップを十分に圧入してください。



裏面

取付け方法

1 受け枠・ベースの取付け

トップに取付孔加工及び鬼目ナットが取付いていることを確認してください。

- ① 取付孔に受け枠を差し込んでください。
- ② 受け枠の上にベースを支柱取付孔がダイニング側に向くように確認して乗せてください。同梱のベース取付ビス (パネ座金組込みネジM6×35) でコの字の溝部が、それぞれ内側に向かい合うように仮締めしてください。

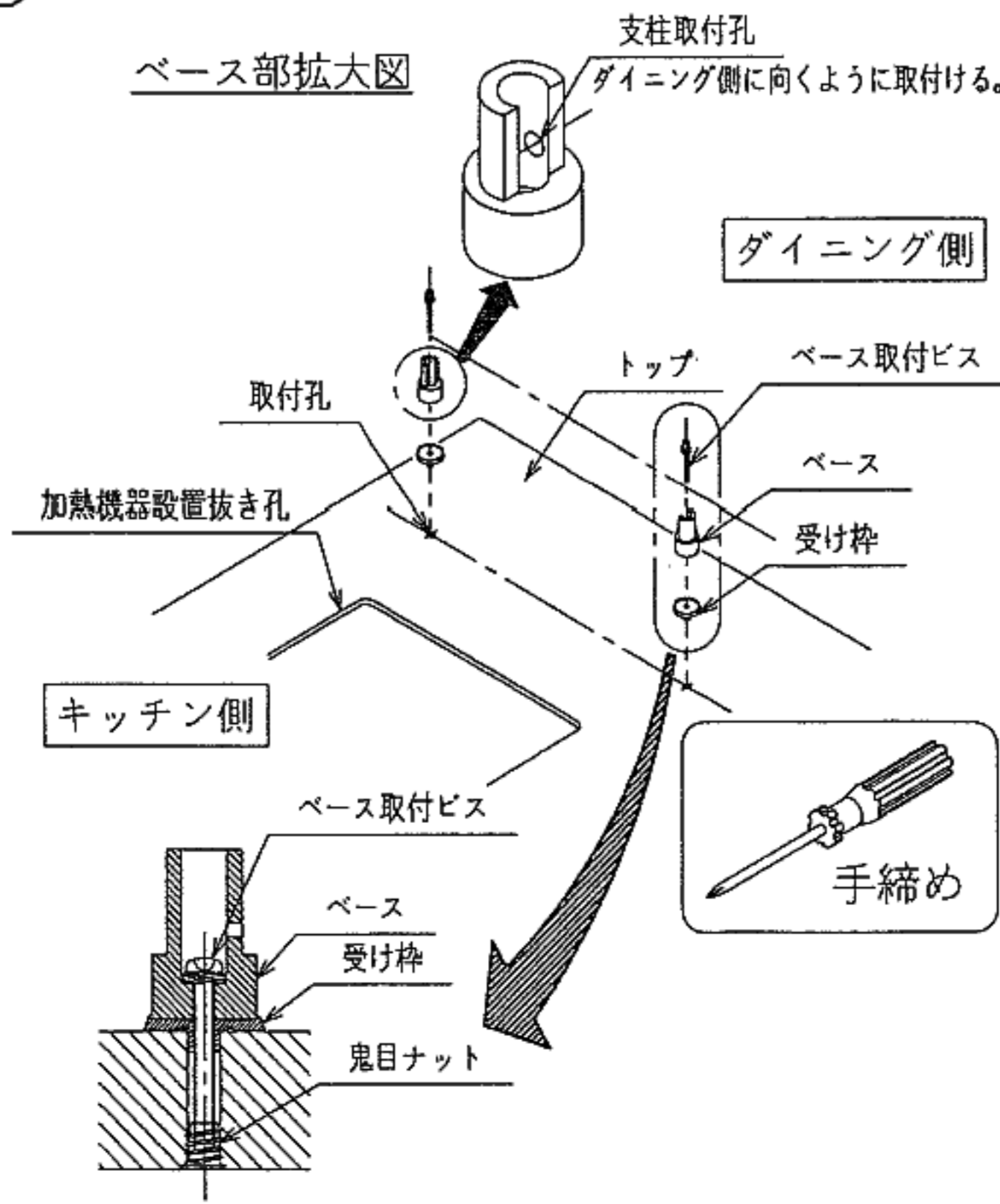
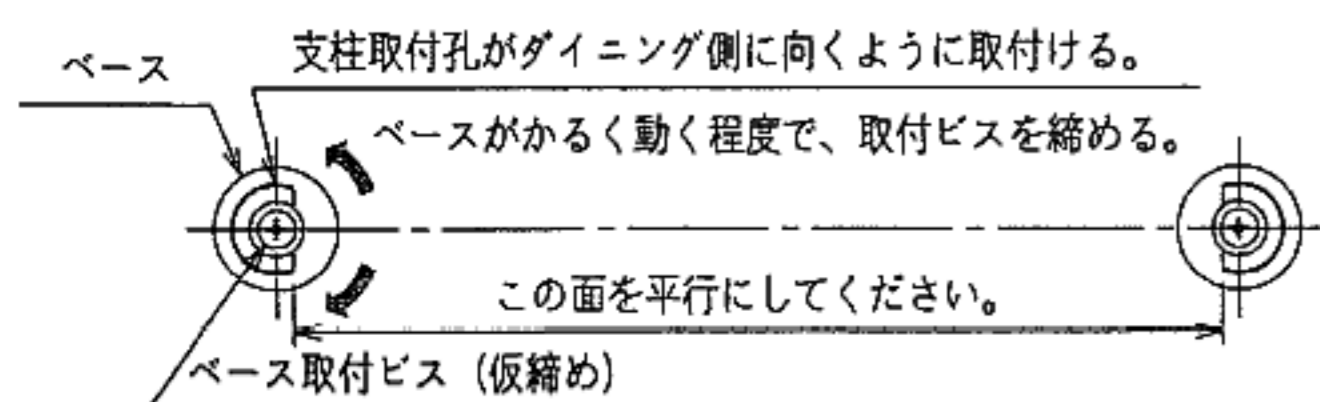
ベース取付ビスは必ず手締めで締めてください。インパクトドライバーや電動ドライバーを使用すると、締めすぎて空回りする恐れがあります。

※ベース取付ビスを締めすぎて空回りさせないようご注意ください。空回りしますと固定が弱くなり外れるおそれがあります。

※ベースには支柱取付孔の位置により勝手がありますのでご注意ください。

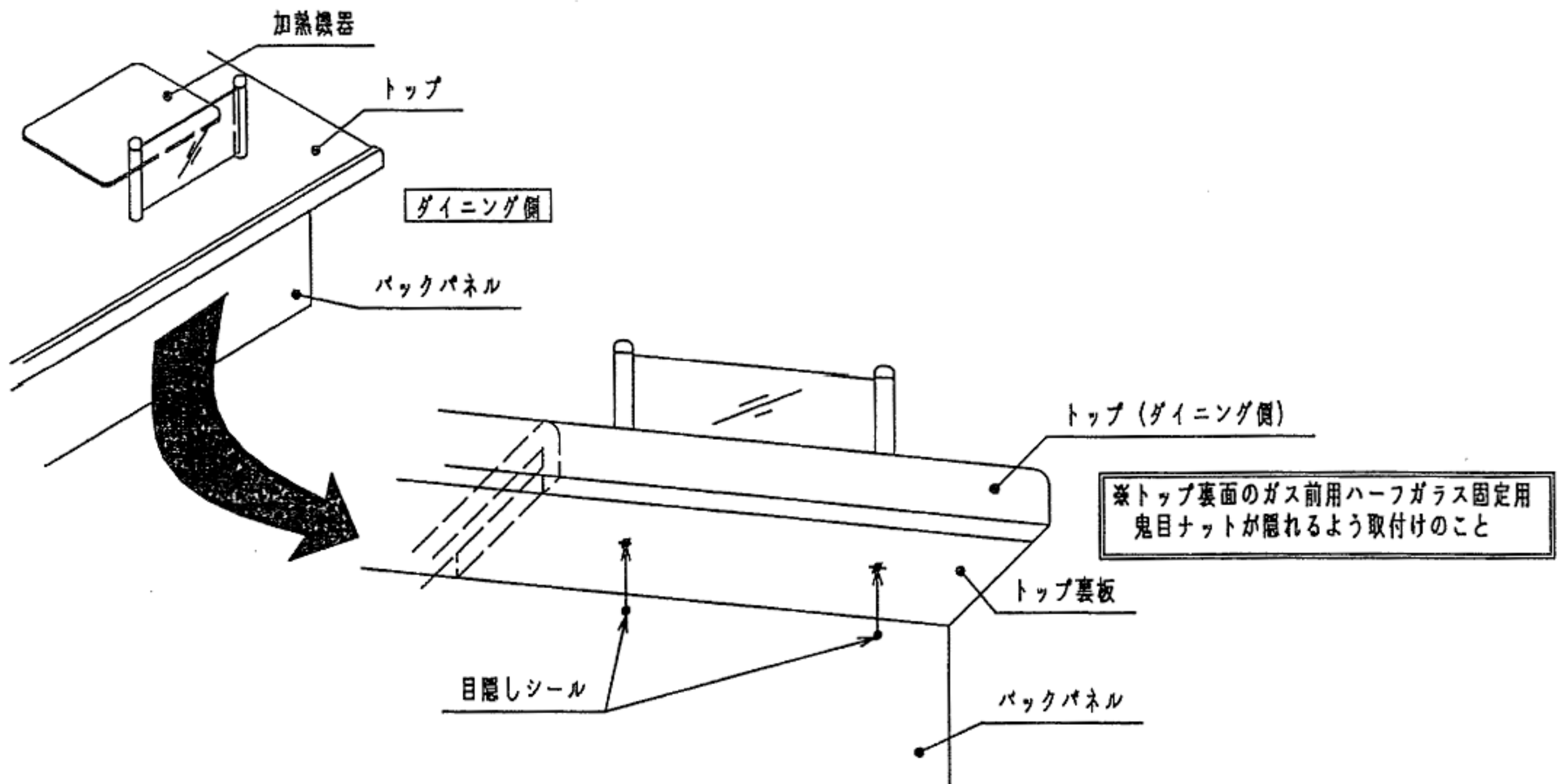
※支柱を取付けた後に、ガラス本体が入るよう溝の位置合わせが必要です。

ベース取付ビスをかたく締めますと、溝の位置合わせができず、ガラス本体が入らないおそれがあります。



目隠しシールの貼付け

ダイニング側のトップ裏面に鬼目ナットが見えてしまう場合は、同梱の目隠しシールを貼付けて鬼目ナットを隠してください。



確認

- ① トップに支柱が確実に固定されており、各部に緩み・ガタつきがない事を確認してください。
- ② ガラス本体が支柱に確実に差し込まれており、各部に緩み・大きなガタつきがないことを確認してください。

施工担当者へのお願い

1. 清掃と養生

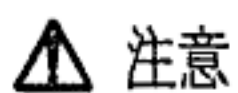
- ・施工後の製品についたほこり・汚れは、やわらかい布で拭きとってください。落ちにくい汚れについては布またはスポンジに台所用中性洗剤をつけて汚れを落としてください。

⊘ 家具用ワックスやシンナー、アルコールなどの溶剤または、研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。変色したり、光沢をなくしたり取付金具やガラス本体の表面を傷めます。

- ・取付け後、内装工事などの後工事がある場合は梱包材等を使用し傷がついたり、汚れたりしないように養生を行ってください。

2. 施工後のチェック

- ・支柱がトップに確実に固定されているか確認してください。
- ・ガラス本体が支柱に確実に差し込まれているか確認してください。



注意

取付金具の傾き、ガタつき、取付け部にゆるみがないことを確認してください。
使用中にガラスが倒れてしてケガをするおそれがあります。

3. 後工事の説明と引継ぎ

- ・建築工事側で行っていただく後工事は、必ず建築工事担当者に引き継いでください。
- ・取扱説明書及び同梱の六角レンチは確実にお客さまに届くように配慮してください。

4. 廃棄処分について

- ・廃棄処分の際は、必ず専門業者に依頼してください。